

お歳暮ありがとうございます。

今年も残り1ヶ月を切ったことには気づいてないよ。と自分に言い聞かせていた頃、研究室あてに続々とお歳暮が届きはじめました。おかげで自分をごまかすことはできなくなりましたが、先輩方が私たちのことを思い浮かべながら色々悩んで選んでくださったんだと思うと、とても嬉しく幸せな気持ちになりました。

お歳暮の詳細は、安松谷先輩からは日本酒詰め合わせ、就職して山口にいる木村君からはフグ、永世院生の長命さんからはTKG(たまごかけごはん)セットをいただきました(到着順)。忘年会を12月初旬に終えてしまっていたので、日本酒をいただく時期をうかがっていたところ、木村くんからふぐ刺しが届き、これは早くたべなければ！！ということで、出張でいない方ごめんなさいと言いながらふぐと日本酒を楽しみまし



たvv



その後、長命さんからは卵30個とTKG用醤油、お米(2kg)のセットが！

またまた、不在の人が何人かいるので、TKGパーティーをいつにしようかと思っていたんですが・・・これま



た、その日のうちに食べてしまいました^^; 卵は人数分以上あるし、それなりに人数もいるしということで・・・。なにより、新鮮な方がおいしいよね☆という意見が通りました。過去にTKGを一生分食べてしまってからTKGを敬遠していた私ですが、今回のTKGはとてもおいしくいただきました。

研究室一同、先輩方のご好意に感謝しております。お近くまでお越しの際はぜひお立ち寄りくださいませ。



下鴨神社の巨大絵馬
飛躍の年になりますように・・・

目次:

広岡先生の随筆 @ネチケットについて	2
クリスマス	3
博士論文製作	3
A5の肉	3
お知らせ	4

あけましておめでとうございます。大晦日からの荒れ模様、畜舎では足首まで雪が積もって、ヤギ達はカタカタ震えていたそうです(羊の毛皮がうらやましかったでしょうね)。

平成23年は大雪でのスタート、凍て付くような寒さでしたが、2日は雲ひとつ無い快晴で、屋根に積もる雪が美しく輝いていました。昨年は、猛暑や自然災害、口蹄疫に年末の鳥インフルエンザと、自然の驚異を目の当たりにするようなニュースが多かったですが、今年は荒れない一年になってもらいたいものです。

山羊の爪切り

雨降りの飼育当番、佳代ちゃんと二人で羊の体重測定へ出かけました。以前から気になっていた山羊の伸びすぎた蹄を見て、「雨でふやけて軟らかくなっているし、切るにはちょうどいいタイミングね～」と思いつつ、ふと机を見ると、見えそ



うな削蹄鉋を発見。さくさ



さくさく・・・

出来上がり

く切って山羊も歩きやすくなりました。削蹄は2ヶ月に1回、伸びすぎる前に行いましょう！

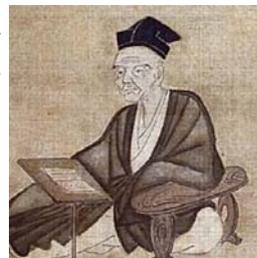
ようこ

好評連載 広岡先生の随筆

④2 ネチケットについて



1990年代半ばころ、以前いた大学で大学のホームページを個々の学生に開放するかどうかの議論が起こった。今から考えれば、「時代遅れ」に見える議論であるが、学生を信じて、学生にHPの開設を許可すべきと主張する賛成派の先生と「便所の落書き」のようなものをもし学生が書き込んだら大学全体の品位を損なうことになるという反対派の先生がいて、議論が尽きなかった。結局、学生を信じて、十分インターネット上のエチケット（ネチケット）を教育した上で開設を許可することとなった。実は、私は反対派の中心であったが、その後、このような先進的な試みは世間で評価され、実際にも、特段の問題は起きなかった。



吉田兼好

Goat Bulletinにエッセーを書くようになって久しいが、本エッセーは、吉田兼好法師の徒然草を模範として書きはじめたものである。徒然草には、さまざまな登場人物が出てくるが、兼好法師はそのような人々をユーモアたっぷりにあるいは愛情をもって描いていることが多く、悪意や敵意をもって書かれていることは少ない。世捨て人の法師にとっては、世俗の人々の営みを超越して書いていたにちがいない。この点において、私は、清少納言の枕草子よりもずっと徒然草が好きである。

このエッセーは、われわれの研究室内においてリアルタイムで起こったさまざまな出来事とその時に考えたこと、感じたことを書き綴ったものが多く、当然、日常のことを書いたものなので、その登場人物、あるいは想定した人物は、身内では想像のつくこともある。人の事を言うのに、特定の人物をイニシャルで書いたり話したりする人がいるが、私はそのようなことは大嫌いで、品のなさと感じる。したがって、支障が生じないケースでは実名で書くことにしている。

しかし、時々、ある人の失敗談で、内容的には今後のみんなの教訓に大いになるが、本人の名前を書くことには少し憚られるような場合、あえて本人の名前は挙げずに書くこともある。そのような時、自分で詮索して、自分ではないかと悩む人がいるようである。しかし、まったく気にしないでほしい。そのことで、他の人が同じ過ち、同じミスを避けられるのならば、それは大いに貢献したことになる。

最近の若者は、友達との関係を損なわないことを最も重視しているようである。周りから仲間はずれにされること、孤立することを最も恐れ、そうならないようにいつも他人の目を意識して生きている。その中で、京都大学の学生は唯我独尊の者が多く、このような傾向は薄いと思われるが、それでも他人とのトラブルを避ける傾向にある。しかし、よく考えれば、研究は先人の研究を否定し、より新しいもの、より正しいものを見つけようとする行為である。したがって、誤った結果を発表すれば、後に名指しで否定されるか、無視されるかのいずれかである。つまり、研究者になることと、他人を傷つけないようにすることは、矛盾する場面も多い。

現在の日本社会の最大の問題点は、責任逃れであり、責任回避のための自己規制である。リスクある行為や勇気ある行為を避け、周りとの迎合を最大限に重視する。このことは若者のみならず、老若男女みんなの問題である。誹謗中傷はもっての外であるが、「人の振り見て、我が振り直せ」の格言があるように、戒めや今後のための教訓として、暗に例として書かれたぐらいで、気にすることはない。本当に、悪意や敵意があれば、人は絶対に口に出して教えないであろうし、人に言ってもらえるうちが花である。いろいろなことを素直に聞き、それを直すようにすれば、より大きな人間になれる。

インターネット上で発言するものは当然、覚悟が必要で、責任も伴うものである。このことは、研究者が学会誌に論文を掲載するもまた、同じことである。責任逃れの自己規制をしている人間よりも、それが正しく、信念に基づいているものであれば、リスクある行為や勇気ある行為をする人間を私は好む。

クリスマス



12月も半ばを過ぎてくると、イルミネーションが彩り、クリスマス音楽が流れたりして町はクリスマスモードに包まれてきます。

僕は、仏教徒ではありませんが、このクリスマスモードというものが非常に好きで、毎年この季節になるとテンションがあがってしまいます。そんな大好きなクリスマス。卒論が忙しい中も、なんとかクリスマスイブくらいは、女の子と過ごしたくて、色々準備してまいりましたが、努力は実らず(笑)、結局予定が空いてしまいました。

そして迎えたイブ当日。

おとなしく卒論をしようかと思いましたが、やはりあまりに何も無いのは寂しかったので、僕と小栗さんとグレースにてケーキを買って、研究室にてプチクリスマス会を強引に敢行しました。イブ当日にしては結構人が残っていて、みんなで

ケーキをつつきました。安いケーキの割には意外と美味しかったです。



その後は、遣伝育種のメンバーも混ざり、流れで、酒をのみつつマーじゃんする事になり、クリスマスという事もあって、もともとテンションのおかしかった僕は調子に乗って飲みすぎて速攻つぶれました。

やっぱりこういう、むさくるしいクリスマスもいいですね。一緒に遊んでくれた人どうもありがとうございました。

ロマンティックなクリスマスは来年に期待したいとおもいます！！

にしやん

博士論文製作



皆さんお気づきのとおり、ただいま博士論文の製作で全身から溢れ出る忙しいオーラを止めることができません。学位は、研究者になるための運転免許のようなものだ、と、広岡先生は常々おっしゃいますが、その取得となると自動車学校のように簡単には行きません。博士論文は、国立図書館に保管されるため、内容が充実していることはもちろんですが、手続きもなかなか大変です。博士学位申請には、課程博士と論文博士の2種類がありますが、私の場合は課程博士で、今年20日に博士論文申請講演会を行い、2月の教授会での審査を受ける予定です。そのために①学位論文審査願②論文3冊(製本済みのもの)③論文目

録④履歴書⑤論文要旨を提出しなくてはなりません(論文博士の場合は、このほかに審査手数料として57000円も必要です)。また、講演会までにはスライドも作らなくてはならず、やってもやっても仕事が減らない感じです(^_^;)。

ただ、こうして好きな研究が続けられる環境と、広岡先生や大石先生の甚大なご協力とに感謝しつつ、論文を仕上げ、講演会に望みたいと思っていますので、畜産資源の皆さん、どうぞ暖かく見守って応援してくださいね〜♪そして、この忙しいオーラが消えたら、ゆっくり遊びましょう☆

ようこ

「A5の肉」

部活の追いコンにて、追い出される先輩が、後輩を良い店に連れて行くという伝統があって、今年は僕が追い出される番。そこでA5の肉が食える焼肉屋に後輩を連れて行きました。



A5の肉は、それはもう口のなかでとろけるような柔らかさで非常に美味しかったです。ただ脂が非常にのっているために、少量でもおなかいっぱいになってしまいました。コースで5000円とそこまで高価でもないのに、また研究室でも行ってみたいですね。

にしやん

Department of Animal Husbandry
Resources, Kyoto University,
Faculty of Agriculture
Oiwakekyo, Kitashirakawa,
Sakyo-ku Kyoto 606-8502 Japan

電話 075(753)6365

FAX 075(753)6365

http://www.animprod.kais.kyoto-u.ac.jp/

GOAT BULLETIN



GOAT BULLETINは、皆様の投稿記事で
成り立っています。形式・文字数は問いません。
また、読者の方々からのご意見やお問合わせも大歓迎です。下記のアドレスまでどしどし
送信してください。

E-mail: yoko3t@kais.kyoto-u.ac.jp

お知らせ

今月のゼミ

今月のゼミは、

1月 11日(火)	小栗・石田(中間報告)	14:45-16:15	E103
1月 18日(火)	木村・中川(靖)(中間報告)	14:45-16:15	E103
1月 20日(木)	加藤・酒井・スリタヤニ(中間報告)	10:30-12:00	E074
1月 25日(火)	荒木(中間報告)	14:45-16:15	E103
1月 27日(火)	中川(智)・柳(中間報告)	14:45-16:15	E103

の予定です。急な変更などがある場合には、事前にお知らせします。

ゼミ係り

お誕生日会



11月&12月のお誕生日さんのお誕生日会を12月21日
に開催しました！「クリスマスっぽいもの」というリク
エストにお答えして、5つのケーキでお祝いしました！
今月のイベント予定はありませんm(_)_m。

イベント係り

研究室の動向

児嶋君(D1)がJIRCAS(国際農林水産業研究センター)の助成を受けて1月
20日までシリアのICARDA(国際乾燥地農業研究センター)にて研修中
です。博士論文申請講演会が1月20日(木)15:00よりE103で開催されま
す。畜産資源からは塚原さん(D3)が発表を行ないますので、皆さん応援に
行きましょう！修士論文の要旨締め切りは1月26日、発表会は2月8・9日
です。

2011年 1月の飼育当番

日	月	火	水	木	金	土
12/26	27	28	29	30	31 前野	1 元旦 荒木
2 石田	3 竹内	4	5	6	7	8
9	10 成人の日	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31	2/1	2	3	4	5

現在調整中に付き、
しばらくお待ち下さい

編集後記 とうとう2011年が明けました。2010年の畜産資源は、メンバーの変更とともに雰囲気も変わりました。たくさんの研究室内流行語も
生まれましたね(笑)。今春には、またまたメンバーが大きく入れ替わる予定ですが、学ぶべきことや改善すべきことを再認識し、今後の研究室
作りの礎としたいものですね。末筆ではありますが、2011年の畜産資源メンバーとGoat Bulletinをご愛読の皆様のご健康とご発展をお祈りいた
しますとともに、今年もGoat Bulletinをよろしく願い申し上げます。